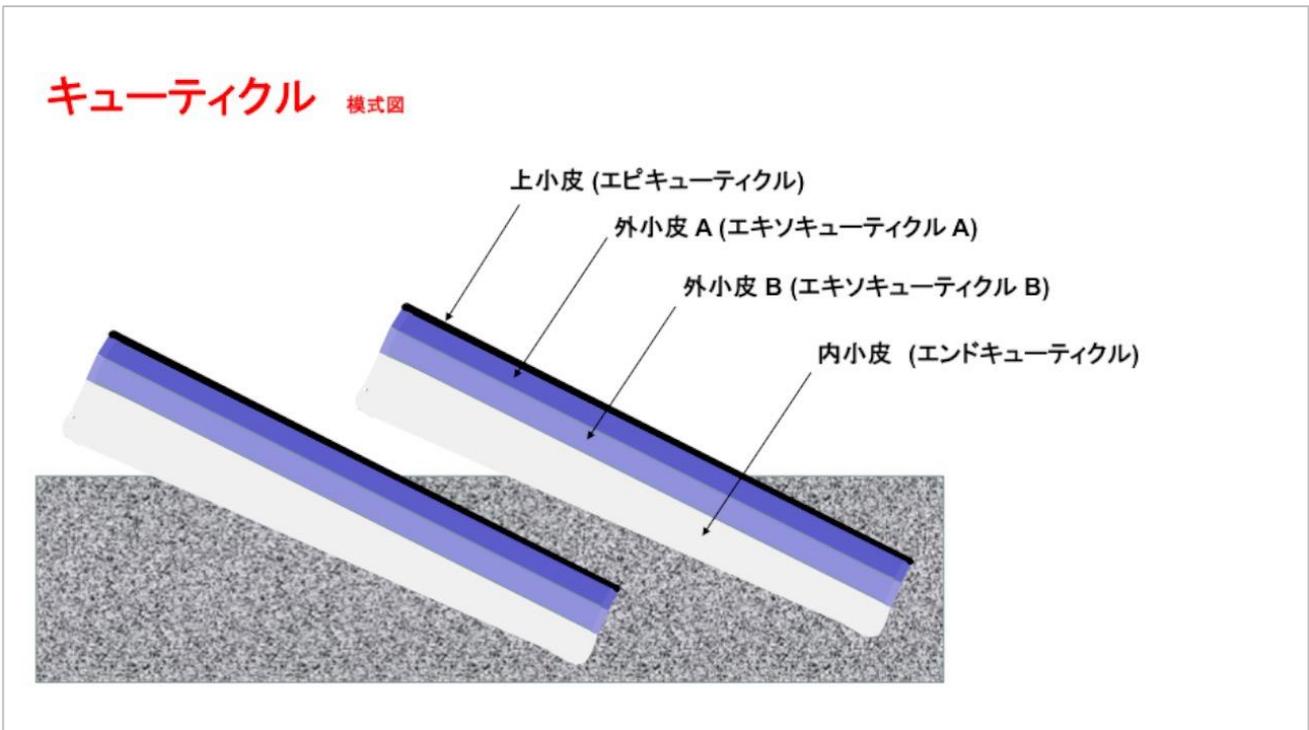


■上が根元、下が毛先。1枚のキューティクルが重なっている比率は4/5～5/6である。つまり1枚のキューティクルの表面積は80%以上が重なっていることになり、他の動物に比べて重なりが非常に密になっている。日本人のキューティクルは8層～10層が重なりながら、毛髪の根幹をなすコルテックスを保護している。



- キューティクルは傾斜して生えている。この模式では2層しか重なっていないが、人間の毛髪では8層～10層が重なっている。
- キューティクルは、一番上が上小皮(エピキューティクル)、次が外小皮 A(エキソキューティクル A)、その下が外小皮 B(エキソキューティクル B)で、エキソキューティクルには A と B の2つの層がある。一番下は内小皮(エンドキューティクル)という構造になっている。
- 「エピ」「エキソ」「エンド」はギリシャ語である。「キューティクルの名称」参照。